気づき、考え、行動し、充実した二期にしよう！

第二学期始業式校長式辞概要

○文武両道の学校（学習と部活動等が両立できる生徒の多い学校）へと成長に手応え
○全生徒が安全で安心な学校生活にするために（生徒会と協力していじめるない学校へ）
○グローバル化を促進し、20年後の自分のために今からできることを準備しよう。
○人々は未来の役割が定まっているため、今、努力して自分の役割・居場所づくりを！
○若山牧水「きょうもまた、こころの鍛を打ち鳴らし、打ち鳴らしつつ　あこがれていく」
○第二学期は行事が多く、一人一人の活躍できる場面がたくさんあります。傍観者はなく、自分に何ができるかを考え、行動できる生徒であってほしいと思います。
○1年生・2年生は部活動等新たな目標設定を、3年生は次のステップに進むのを準備を・・・
○人生は選択の連続です。何を選ぶかで一人一人的人生の方向性が左右されます。
知識と経験+直感等がよりよい選択の目安になります。多くを学び、たくさんの経験を

うるま市海外短期留学派遣に本校2学年女子2名が参加しました

写真：うるま市海外短期留学に参加した生徒倶
平成27年度うるま市海外短期留学派遣事業に本校
2年生の玉井愛生さんと天願美優さんが参加しました。
この事業は夏休みの約1ヶ月を活用して、米国シアト
ル郊外の家庭に住み、米国の家庭生活を体験しなが
ら、地域の文化に触れ、英語学習を行うというもの
です。玉井さんと天願さんは、校内審査、うるま市での
審査を経て、短期留学が実現しました。
写真は短期留学プログラムで実施されている・シアト
ル郊外の消防署への訪問です。消防署の勤務形態や食事の内容、トレーニングルームの見学
を通じて、Firefighter（消防士）達の日常の素顔に迫ります。体験プログラムとして、消防士が火
事の際に着用する防災服も実際に着けます。重さ20キログラム以上もあり、日頃の鍛錬が必
要であることもわかります。午前中は主に日常英会話のレッスン、午後は地域へ行き、老人ホー
ルや歴史的遺産等々地域文化に触れられる体験活動を行います。終了後はホストファミリーと
過ごします。そこで、日常的な家庭生活、家族の在り方、文化全般について体験できます。

現在、沖縄県では「英語立県沖縄推進施策」の中心「グローバルリーダー育成」として
1高校生70名を1年間海外へ派遣　米国・欧州・アジア諸国等
2大学生等を含む社会人30名を海外派遣
3アメリカ高等教育体験研修（高校生50名が米国の大学で夏休みに3週間派遣）
4中国教育交流研修（高校生20名を中国に10月に2週間派遣）
5県高校生芸術文化国際交流プログラム（80名をシンガポール、オーストラリア、台湾へ5～7日派遣）
6海外サイエンス体験短期研修（公団製25名を3日に12日間海外へ派遣）
7専門高校生（商業、農業、工業、水産高校等）国外研修（台湾25名、オーストラリア15名）
8県高校生海外就職プロジェクト（ハワイ州高校生と交流）　高校生25名をハワイへ2週間派遣

沖縄県では、次世代のリーダー育成事業が充実しています。目指せ英語検定準2級（中学校）
Now, Get A Chance!